

センターだより 第14号  
令和3年12月6日

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター  
センター長 上ノ町 仁

## 新規実施項目のお知らせ

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、外部委託先の株式会社エスアールエルより、新たな検査項目の受託開始について案内がありましたので下記の通りお知らせいたします。

該当する検査項目をご依頼いただく際はご確認くださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

■ 実施日 2021年12月13日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

検査項目・コード JLAC10	採血量 (mL)	容器	提出 温度	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
SARS-CoV-2 IgG N (CLEIA) 2543400 (5808) JLAC10 : 5F625-1431-023-052-90	採血量 2.0	生化学 茶色 A	室温	2~4	なし	CLEIA	1.0未満 陰性 (-) (AU/mL)	<b>不</b> 不活化(非働化)検体では 検査値に影響を及ぼす場合 がありますので避けてください。 SARS-CoV-2ヌcleoカプシド (N)タンパク質に対するIgG を測定する定量検査です。

※株式会社エスアールエルへの外注項目です。

## ● SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）IgG N

ヌクレオカプシド蛋白質に対するIgG抗体を測定する定量検査です。

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、スパイク（S）、エンベロープ（E）、メンブレン（M）、ヌクレオカプシド（N）の4種類の構造タンパク質で構成されています。Nタンパク質は、RNA複製、ウイルス粒子の放出などの機能を有し、ウイルスの増殖において重要な役割を果たしています。

Nタンパク質に対するIgG抗体は、SARS-CoV-2に感染することで産生されるため、感染履歴を確認できることが示唆されています。一方、Sタンパク質特異的に免疫反応を誘発するよう設計されているSARS-CoV-2ワクチンを接種した際には、Nタンパク質に対するIgG抗体は産生されません。両者を組み合わせて測定することで、自然感染による抗体獲得およびワクチン接種による抗体獲得状況の把握など、疫学調査における活用が期待されています。

本検査は、富士レビオ社の研究用試薬「SARS-CoV-2 N-IgG測定試薬（IB）」を用い、検体中のSARS-CoV-2 Nタンパク質に対するIgG抗体を定量的に測定する検査であり、定量値と判定結果をご報告いたします。

### ▼疾患との関連

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

### ▼関連する主な検査項目

SARS-CoV-2 IgG S（スパイク）

### ▼検査要項

検査項目名	SARS-CoV-2 IgG N（CLEIA）
項目コード	2543400（5808）
採血量	2.0 mL（血清 0.5mL）
容器	生化学 茶色 A
提出温度	室温
所要日数	2～4日
検査方法	CLEIA
基準値	1.0未満 陰性（－） （AU/mL）
報告範囲（単位）	1.0未満、1.0～99900000（AU/mL）
桁数	有効 3桁、整数 8桁、小数 1桁
検査実施料	なし
判断料	なし
備考	<b>不</b> 不活化（非働化）検体では検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。 SARS-CoV-2ヌクレオカプシド（N）タンパク質に対するIgGを測定する定量検査です。

### ●留意事項

- 1) 富士レビオ社の研究用試薬「SARS-CoV-2 N-IgG測定試薬（IB）」を用いた研究検査項目です。
- 2) 研究検査項目のため、診断目的に使用することはできません。
- 3) ご施設様において、項目コードマスタの設定をお願いいたします。